

事務事業名	39740 青少年健全育成活動費	予算科目	会計 一般	款	10	項	4	目	1	事業種別	<input checked="" type="checkbox"/> 主な事業 <input checked="" type="checkbox"/> 国土強靱化地域計画 <input checked="" type="checkbox"/> 新市建設計画 <input type="checkbox"/> 定住自立圏構想 <input type="checkbox"/> 主要事業
策体系	基本施策 14 青少年の健全育成 施策の展開 28 青少年の健全育成の推進	根拠法令	旭市青少年問題協議会条例等	戦略事業	136 青少年育成市民会議の推進	戦略事業	137 青少年問題協議会の開催				

(1) 事務事業の概要

① 事務事業の期間	② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるように記述する、行政用語は使わない
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 <input type="checkbox"/> 平成 年度～ 年度～ <input checked="" type="checkbox"/> 開始年度不詳 <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 平成 年度～ 年度～ 平成 年度まで	① 青少年育成市民会議：地域と行政が協働して意見発表会などを通じて青少年の健全育成を行う。市は育成市民会議に補助金を交付する。 ② 青少年問題協議会：青少年の指導等に関する総合政策について調査審議する。市は事務局事務を行う。
③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状	④ 事務事業に関する課題・環境の変化
家庭と地域・学校等各団体間の協力体制並びに組織体制づくりによる密接な連携のもと、体験学習や実践活動を通じて地域との関わりや世代間交流を促進し、社会性や豊かな人間性を持つ青少年を地域全体で育成していく。	青少年を取り巻く社会環境は、親子のふれあい不足、地域での人間関係の希薄化や地域活動への関心の薄れ、子どもたちの異年齢間での遊びの減少などが指摘されている。一方、従来の万引、喫煙、深夜はいかいなどに加え、パソコンや携帯電話によるインターネットの利用から発生する問題は、ますます多様化、低年齢化の傾向にある。
⑤ 事務事業に対する住民からの意見等	
学校、家庭、地域社会、関係機関が一体となった青少年の健全育成活動の取り組みの充実が求められている。	

(2) コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細(30年度の決算) 単位:千円						
1.負担金及び交付金	180	補助金(育成市民会議)				
2.需用費	53	啓発用品購入代、記念写真印刷代				
3.委託料	27	宇話通訳委託料				
4.使用料及び賃借料	88	東総文化会館使用料				
② 特定財源の内訳(30年度の決算) 単位:千円						
1.国庫支出金	0					
2.都道府県支出金	0					
3.地方債	0					
4.その他	0					

事業費	費目内訳	単位	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(決算)	31年度(予算)
	1.負担金及び交付金	千円	180	180	180	180	180
財源	2.需用費	千円	89	77	53	53	57
	3.委託料	千円	21	19	21	27	33
	4.使用料及び賃借料	千円	106	70	82	88	83
	事業費計(A)	千円	396	346	336	348	353
	1.国庫支出金	千円					
2.都道府県支出金	千円						
3.地方債	千円						
4.その他	千円						
5.一般財源	千円	396	346	336	348	353	

前年度増減理由: 建物借上げ料(東総文化会館)の増

従事職員数: 常時 2人 最大 5人 × 30日 = 延べ 150人

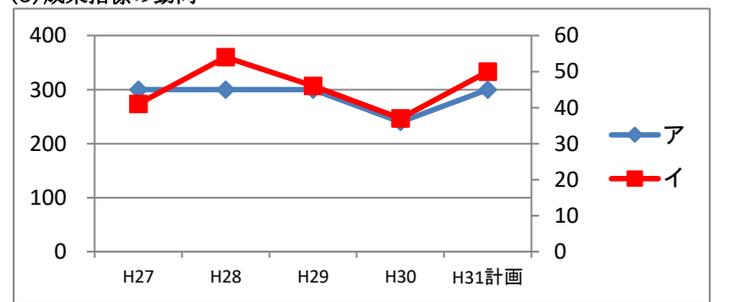
(3) 事務事業の手段・目的と対応する指標

① 主な活動	③ 活動指標名	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(計画)
30年度実績(30年度に行った主な活動) 《青少年育成市民会議》 啓発運動・青少年意見発表大会 《青少年問題協議会》 会議及び講演会の開催	ア 《市民会議》意見発表大会の発表人数	人	14	14	13	14	15
	イ 《問題協議会》会議の回数	回	1	1	1	1	1
② 対象・意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標名	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(計画)
対象意図: 《市民会議》6歳から24歳までの青少年 《市民会議》社会性や豊かな人間性を持つ青少年を地域全体で育成していく。	ア 《市民会議》青少年意見発表大会の来場人数	人	300	300	300	240	300
対象意図: 《問題協議会》6歳から24歳までの青少年の指導・育成者 《問題協議会》青少年に関する総合的施策について意見交換と連絡調整を図る。	イ 《問題協議会》会議及び講演会等の参加人数	人	41	54	46	37	50

(4) 事務事業優先度評価の結果

① 成果優先度評価結果		② コスト削減優先度評価結果			
施策貢献度	成果向上余地	コスト比率	下位 1/3	中位 1/3	上位 1/3
	大きい	かなりある	①		
	普通	ある程度ある	②	(2)	
小さい	ほとんどない	③			
		④⑤			
		⑥			
		⑦⑧			
		⑨			

(5) 成果指標の動向



(6) 事務事業に関する評価

① 進捗状況	<input checked="" type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 順調 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね順調 <input type="checkbox"/> 停滞 <input type="checkbox"/> 実施困難
② 成果の状況	成果指標ア 成果指標のタイプ: 数値増=成果向上 <input type="checkbox"/> 向上 <input type="checkbox"/> 横ばい <input checked="" type="checkbox"/> 低下 成果指標イ: 数値増=成果向上 <input type="checkbox"/> 向上 <input type="checkbox"/> 横ばい <input checked="" type="checkbox"/> 低下
③ 今年度取組事項	時期: ①令和元年6月 ②令和元年11月 内容: ①犯罪や非行の防止・立ち直りに関する講演 ②青少年意見発表大会では、司会を市内中学生、アトラクションを市内小学校音楽部にお願ひし実施する。
④ 比較	26年度 27年度 28年度 29年度 30年度 ア 0 0 0 Δ60 60 イ 22 13 Δ8 Δ9 13
⑤ 今後の方向性	<input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> その他() 令和元年度以降: 青少年に関する問題は複雑化かつ深刻化しているため、今後も各団対等がそれぞれの立場で青少年の健全育成を推進できるよう支援を行う。